

## 笹田トヨ子の可見市視察報告

# 市民に開かれた市議会で市政に活力を

5月18日、可見市へ視察に行ってきました。目的は①市民のって市議会がもっと身近になるためにはどうすればよいか、②政務調査費や視察費等他市の実態どうなっているのか、という2点の調査でした。

(平成16年4月1日現在 財政力指数は平成14年度の数值)

	大垣市	可見市
面積	79.75km <sup>2</sup>	84.99km <sup>2</sup>
人口	153,737	97,990
世帯数	55,288	34,290
財政力指数	0.897	0.921

## 1. 議会運営

	大垣市	可見市
議会傍聴	本会議(定員75名) 傍聴者: 24名~99名(H14年度) 委員会: 委員会に諮り許可	本会議(定員47名) 傍聴者: 10名前後
テレビ放映	なし	ケーブルテレビで一般質問は生中継し、再放送を土曜日か日曜日に行う。常任委員会等の様子は夕方のニュースで放送。
議会便り	年4回定例会毎に発行 一般質問の内容と答弁が掲載されるが、質問者名が出ないので、誰が質問したか不明。	年4回定例会毎に発行 一般質問は議員の写真と名前を出し、質問内容と答弁を掲載。
会議録	本会議全文記録を議員に配布。庁内LANで過去の議事録閲覧可能。	インターネットで本会議会議録公開。

発行: 日本共産党 大垣市中央支部

発行年月日: 2004. 5. 21 第60号

連絡先: 大垣市場部屋町41 Tel: 74-3449 Fax: 73-8572

イタリへの派遣政府

## 2. 視察・研修費など

	大垣市	可見市
海外視察	長期: 1人当り90万円・2名 短期: 1人当り80万円・3名	廃止
行政視察	常任委員会: 1人当り12万円 特別委員会: 1人当り8万円 議会運営委員会: 1人当り10万円	常任委員会: 1人当り10万円 特別委員会: 日帰り視察
政務調査費	1人当り年間120万円を会派に支給	1人当り年間24万円を支給

### テレビ放映で茶の間で見られる市議会に!

可見市は平成10年からケーブルテレビで一般質問の生中継を行っています。全議員の質問をカットなしで放映し、土曜日か日曜日に再放送を行います。そして、ここ数年は議会活性化特別委員会を設置し、一般質問のやり方を見直し対面方式にするなど議会改革を進めています。

大垣市もテレビ放映を導入することや、「議会便り」に一般質問者の氏名をはっきりいれること、そして会議録をインターネットで公開するなど、市民の目が気軽に議会に向くよう改善することが大切だと思いました。

### 海外視察は果たして必要か?!

大垣市の海外視察費は毎年420万円予算化されます。しかし、この視察が本当に市政に反映されているのでしょうか。共産党はこの海外視察費の予算計上に反対してきました。可見市では4年前に廃止されています。

また、政務調査費についても可見市と比べるとその額は大きく、考えさせられました。額が議員の活動に見合っていれば問題ないのですが、大垣市の場合それを検証する資料提供が不十分です。可見市では政務調査費収支報告書に領収書の添付が必要で、会派の視察報告書を議長に提出しなければなりません。しかし大垣市はそれらの提出義務がありません。政務調査費が有効に活用されているかどうか、検証が必要だと思いました。

市会議員 笹田 トヨ子



スポットOgaki、日本共産党に対するご意見・ご質問等はこちらへ  
TEL 81-1383 <http://www.sasada-toyoko.jp/>  
e-mail: [sanbal@sasada-toyoko.jp](mailto:sanbal@sasada-toyoko.jp)